

■公共空間

- 1階 - ヒロティ+広場
- 2-3階 - 教育センター
支援センター
- 4-5階 - 店舗
交流センター
支援相談室

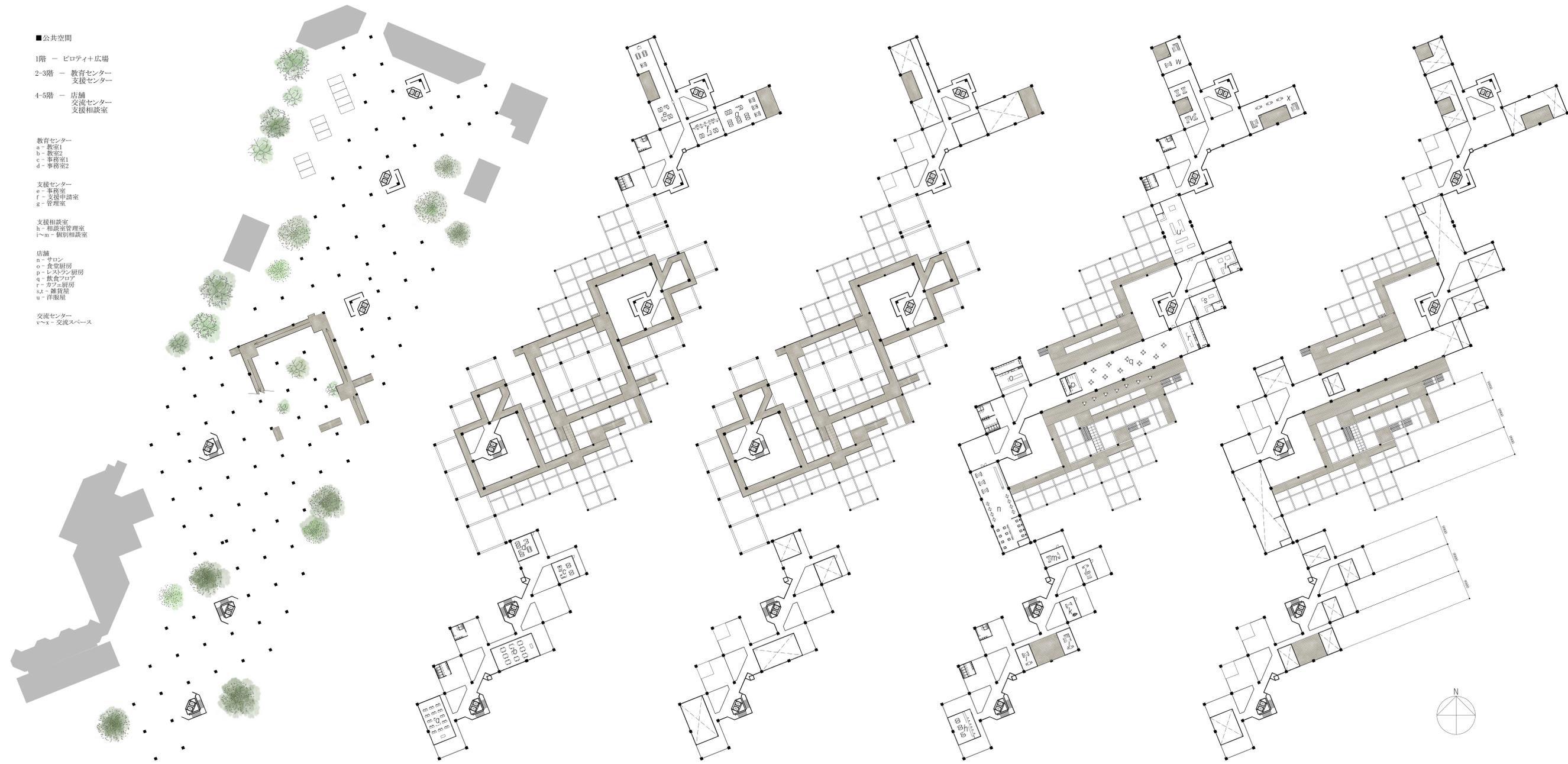
- 教育センター
- a - 教室1
 - b - 教室2
 - c - 事務室1
 - d - 事務室2

- 支援センター
- e - 事務室
 - f - 支援申請室
 - g - 管理室

- 支援相談室
- h - 相談室管理室
 - i - m - 個別相談室

- 店舗
- n - サロン
 - o - 食堂厨房
 - p - レストラン厨房
 - q - 飲食フロア
 - r - カフェ厨房
 - s, t - 雑貨屋
 - u - 洋服屋

- 交流センター
- v - e - 交流スペース



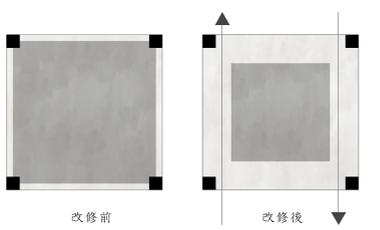
2階平面図 S=1:500

3階平面図 S=1:500

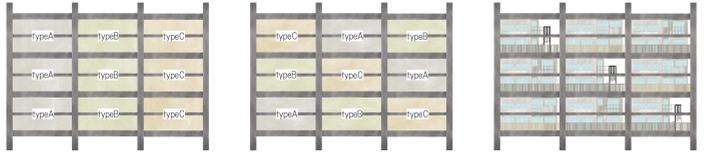
4階平面図 S=1:500

5階平面図 S=1:500

■住居



改修前の基町高層アパートは、9900×9900に配置された柱を構造体として、各階にスラブがあり、4本の柱内へ11に壁が取り付けられ、住居タイプが配置されている。このような密度の濃さにより、大きな圧迫感と、住居の窮屈さを感じる。そこで、柱内へ11に壁を4段ともに後退させ、柱内の平面空間に余裕を持たせる。これにより、圧迫感を低減させ、空間に余裕が出てくる。



集合住宅の住居タイプの配置は、統一性がある。よって、ファサードにも統一性が現れ、単調なデザインとなる。

改修後の基町高層アパートは、プランとファサードの異なる3つの住居タイプを横にずらし、ファサードにリズムをつくる。

減築と壁の後退により空間ができ、これまで感じていた壁のような圧迫感はなくなくなる。また、ところどころに建物の見え隠れする。

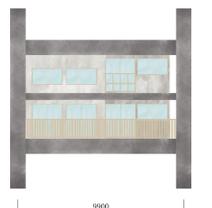
typeA
2LDK
49.75㎡
99.00㎡
片層+子
学生シェアハウス



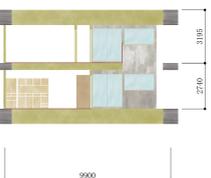
地下階平面図 S=1:150



非地下階平面図 S=1:150



南側立面図 S=1:150



A-A' 断面図 S=1:150

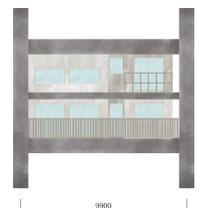
typeB
3LDK
63.15㎡
138.00㎡
片層+子
学生シェアハウス



地下階平面図 S=1:150



非地下階平面図 S=1:150



南側立面図 S=1:150



B-B' 断面図 S=1:150

typeC
1LDK
44.58㎡
89.16㎡
片層+子
住居(学生)



地下階平面図 S=1:150



非地下階平面図 S=1:150



南側立面図 S=1:150



C-C' 断面図 S=1:150